第１　新潟県教育振興基本計画における推進施策等
（平成26年度主要事業）

○　基本方針

教育委員会では、今年度より新潟県教育振興基本計画を策定し、「個を伸ばす教育」という基本理念のもと、今後目指すべきひとづくりの姿として「ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましいひとづくり」を目標に掲げ、各施策を展開してまいります。

平成26年度当初予算では、「学校教育の本質」に関わる予算として、キャリア教育の推進、グローバル人材の育成、子どもたちの個性や能力の伸長、少人数学級の更なる拡充、いじめ防止対策の推進など、「魅力ある教育環境の整備・充実」や「学力の向上」、「豊かな心の育成」に必要な予算について、最優先に確保しました。

あわせて、老朽化した県立学校の改築や耐震改修の計画的実施など、安全・安心な学校づくりを推進してまいります。

また、スポーツ競技力の向上を図る取組や、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた取組など、県の重要施策の推進についても所要額を計上しました。

Ⅰ　学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進

- 平成25年度に小学３年生において実施していた35人以下学級を、小学４年生と５年生、及び中学１年生にも拡充します。
- 義務教育段階では基礎的・基本的な学力の定着に取り組みます。また高等学校教育段階では、生徒一人一人に確かな学力や専門的な知識・技能を身に付けさせ、将来において自己実現可能な力をはぐくみます。
- 児童生徒の心身の健全な育成のため、道徳教育、人権教育、同和教育の充実を図るとともに、食育や体力づくりに取り組みます。
- 一人一人の障害に応じた特別支援教育の充実を図るとともに、「地域の子どもは地域で学ぶ」を基本とした特別支援学校・学級の適正配置を進めます。

Ⅱ　キャリア教育の推進

- 将来を見据えた、小中高一貫した地域参画型キャリア教育を推進し、社会が求める能力や郷土愛を育み、県の人口問題対策の主要課題でもある若者の県外流出防止やＵターンの促進等に向けて取り組みます。

・　地域や企業活動の国際化の進展に伴い、豊かな語学力やコミュニケーション能力、国際競争力を身につけた人材を育成するため、英語教育の強化等に努めます。

Ⅲ　高等教育（大学院・大学・専修学校等）・研究機能の充実

※総務管理部所管

Ⅳ　学び続ける生涯学習環境づくり

・　学校、家庭、地域の連携を強化し、地域全体で子どもをはぐくむ体制づくりを進めるため、市町村における取組を支援します。
・　生涯学習機会の充実や多様なニーズに応える図書館づくりを進めます。

Ⅴ　地域の魅力を高める文化・スポーツの振興

・　佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた取組の推進や、県立近代美術館における法隆寺展の開催など、質の高い芸術鑑賞機会を提供するとともに、文化財の保護・活用を進めます。
・　ジュニア選手の育成や指導者の配置などにより、競技水準の向上を図り、新潟から全国やオリンピックなど世界で活躍できる選手を育成するとともに、スポーツの普及・振興を目指します。

Ⅵ　安全・安心な学校づくり

・　老朽校舎の大規模改修と耐震改修を行い、安全・安心な学校づくりを推進します。
・　交通安全教育を推進するとともに、「新潟県防災教育プログラム」を活用した防災教育を推進します。
・　いじめ防止対策推進法に基づく連絡協議会及び第三者委員会を設置し、いじめ・不登校、暴力行為等の解消と未然防止に取り組むとともに、いじめ見逃しゼロ県民運動の展開と併せて、スクールカウンセラーの配置など学校や地域における相談指導体制の充実を図ります。
・　経済的理由により修学が困難な者に奨学金を貸与し、教育の機会均等を図ります。

震災への着実な対応と災害に強い学校づくりの推進

・　中越大震災及び中越沖地震で被災した児童生徒の心のケア等を支援するため、引き続き、教育復興加配教員を配置するとともに、学校の耐震化を進め、災害に強い学校づくりに努めます。